

Zoom Up

事故なく安心して学校へ

# 通学路の安全対策が進む

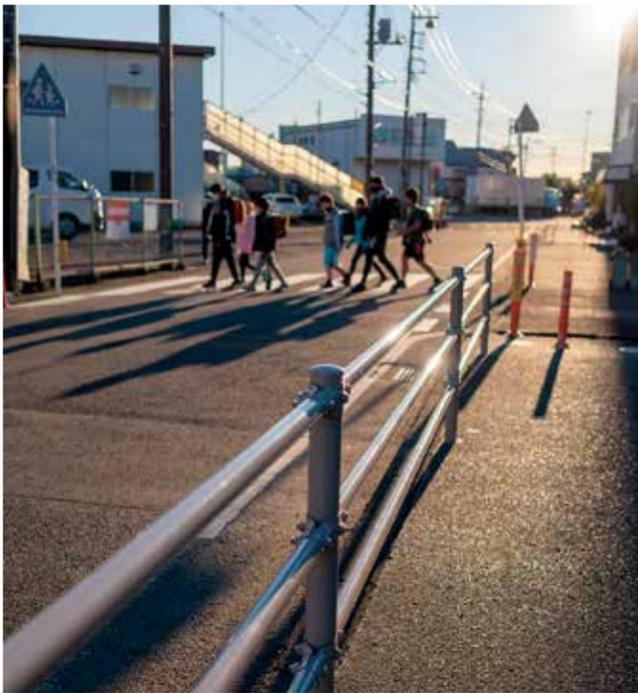
市では、子どもの交通事故を減らすための対策を進めています。小学生の目線で撮影した映像や学校関係者、道路管理者などの視点で見つけた危険箇所、路面カラー化や防護柵の設置などを実施。事故なく登下校ができるよう、通学路の安全性を高めています。

2022年、市内では617件の交通事故が起き、6人が命を落としました。交通事故件数は減少傾向ですが、昨年は中学生以下の子ども36人が事故に巻き込まれました。

市では昨年、通学路の安全性向上を目指し、児童のランドセルに付けて通学路を撮影できる小型のカメラ（左下欄参照）を導入。子ども目線での点検を始めました。

## 通学路の現状を再検証

通学路は昨年度まで、保護者や先生



ウェアラブルカメラの映像を基に設置された防護柵（妻田小学校周辺）

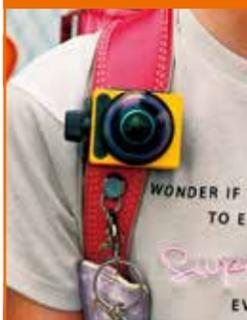


歩道のグリーン化（清水小学校周辺）



交差点のカラー化（愛甲小学校前）

## 子どもの目線で確認 ウェアラブルカメラ



リュックサックの肩ひもや自転車などに装着できる軽量で小型なカメラ。手に持たずに撮影者の視点で撮影が可能。小学生に取り付けることで、大人では気づきにくい危険箇所の発見につなげている。

☎学務課 ☎225-2650

など、学校関係者からの要望を基に安全対策を講じてきました。今年度はさらに、子どもの低い目線で撮影・記録できるウェアラブルカメラを導入。6月から市内の23小学校の通学路を撮影しました。撮影した映像は、市職員や県土木事務所、厚木警察署で構成する通学路の安全対策協議会で共有し、危険箇所の発見につなげていきます。

点検の結果などを踏まえ、主に対策を講じたのは、歩道のない道路や信号機がない交差点です。通学路の安全性を高めるため、歩道の路側帯や、横断歩道などを強調する路面のカラー化を実施。車の運転者からの視認性を高め、歩行空間を認識させることで注意喚起します。

## 約200件の安全対策工事

他にも、歩行者の横断が多い横断歩

## ワンストップで申し込みが完結

# 粗大ごみのインターネット受け付けが新しく

インターネット受け付けが新しくなり、24時間いつでも環境センターへの直接搬入と戸別収集の申し込みができるようになりました。



- 旧**
  - 直接搬入の予約は不可
  - 戸別収集はインターネットで申し込み後に、市の担当者から連絡があり、収集日を決定
- 新**
  - 直接搬入、戸別収集ともにインターネットで日時を選んで申し込みが完結

詳細はこちら▶



### ■粗大ごみ

一辺の長さが50センチ以上の物（高さ・横幅・奥行の合計が300センチ以上のたんす・ベッド枠・ベッドマット・棚類・物置・ソファ・マッサージチェア・テーブルは特定粗大ごみ）

### ■料金

粗大ごみ 1点500円  
特定粗大ごみ 1点1000円

### ■出し方

直接搬入 環境センターに直接持ち込み  
戸別収集 ごみ収集車が自宅周辺に行き収集

☎環境事業課 ☎225-2790

## 死亡事故ゼロを目指して

市では他にも、交通事故の中で件数が多い自転車利用者の安全を守るために、全ての年代への自転車用ヘルメット購入費補助（下欄参照）や、交通安全教室の開催など、事故防止に取り組んでいます。

今後、歩道拡充に加え、通学路の歩道整備や生活道路の拡幅、老朽化などが進んでいる橋の架け替え工事に向けた調査を進めていきます。

## 安心して乗るために

# 自転車用ヘルメットの購入費を助成

転んだときの頭部の保護や、ダメージ軽減に役立つヘルメットの購入費用を助成します。

☎交通安全課 ☎225-2760

【対象】購入日に市内に住所がある方

【助成額】上限1000円（1人につき1個）

交通安全課や公民館などにある申請書と現住所が分かる運転免許証や学生証を持ち、3月31日までに協力店舗へ。



詳細はこちら